

令和 2年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	木原奉文
	全体計画						経費区分		-		内線	3416
事務事業名	4151 市有林維持管理事業											
所 属	150100 産業振興部・農林課											
施 策	05012200 森林の多面的機能の維持保全と共生											
予算 科目	会計	01 一般会計										
	科目	020107 総務費・総務管理費・市有林管理費										
	事業	010000 市有林維持管理事業										
事業目的						事業概要・効果						
市有林の適切な管理						市有林の維持管理をすることにより、森林の多面的機能を発揮できる。 適切な森林整備（搬出・保育間伐）を行うため、本年度は経過観察とし、来年度に間伐施業を実施する。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
市有林の除間伐 搬出間伐6.34ha、切捨て間伐4.37ha、作業道開設 535m	市有林の切捨て間伐（育成間伐）9.0ha
平成29年度 実績	平成30年度 実績
市有林の除間伐 搬出間伐 4ha、切捨て間伐（保育間伐）2ha、作業道開設 200m	市有林の除間伐 搬出間伐 4ha、保育（切捨て）間伐 2ha、作業道開設 800m
平成31年度 実績	令和 2年度 予定
無し（適期に森林整備を行うため、本年度は間伐等を実施しなかった。）	市有林の除間伐 搬出間伐 9ha、作業道開設 200m

指標名	無し					
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成31年度 決 算	令和 2年度 予 算
事業費		415	7,908
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	4,875
	地方債	0	0
	その他	0	410
一般財源		415	2,623
人員数(人)	正規職員	0.1	0.2
	嘱託職員	0.1	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	726.5	1,453.0
	嘱託職員	282.9	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	1,009.4	1,453.0
市民一人当たりの経費		0.0	0.2
総額		1,424.4	9,361.0

(単位：千円)

平成31年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	44	長野森林組合賦課金44
その他	371	森林国営保険料231

(単位：千円)

令和 2年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	7,500	市有林除間伐事業（搬出間伐、作業道開設）7,500
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	44	長野森林組合賦課金44
その他	364	森林保険料364

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	市有財産の適正な管理と地域資源としての間伐材の活用につなげている。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	市有林の維持管理を行うことで、土砂災害防止機能など、森林の持つ多面的な機能を発揮できる。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	間伐材を活用した背もたれ式ベンチや遊歩道への路面水切工の設置を行った。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

適期に森林整備を行うため、本年度は間伐等を実施しなかったが、引き続き森林整備は不可欠である。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

市有林の適切な管理は今後も必要

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

市有林の維持管理により、森林の多面的機能の維持保全に努める。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--